

# HP iLO 4 リリースノート

## 1.05

HP 部品番号: 684917-192  
2012 年 6 月  
第 2 版





---

# 目次

1 HP iLO 4 リリースノート.....	4
説明.....	4
推奨アップデート.....	4
以下を差し替えます。.....	4
製品モデル.....	4
オペレーティングシステム.....	4
ブラウザー要件.....	4
サポートされるデバイス.....	5
FlexibleLOM のサポート.....	5
拡張機能.....	6
修正点.....	8
前提条件.....	8
インストール手順.....	9
問題と推奨処置.....	9

---

# 1 HP iLO 4 リリースノート

## 説明

HP iLO Management Engine は、サーバーのライフサイクル全体をサポートする内蔵管理機能の集まりです。HP iLO は、HP iLO Management Engine の 1 つの機能です。

HP iLO サブシステムは、初期のサーバーセットアップ、サーバーヘルスの監視、電力と温度の最適化を行い、リモートサーバー管理を簡素化する、ProLiant サーバーの標準コンポーネントです。HP iLO サブシステムは、インテリジェントなマイクロプロセッサ、セキュリティ保護されたメモリ、および専用のネットワークインターフェイスを備えています。この設計により、HP iLO は、ホストサーバーとそのオペレーティングシステムから独立しています。

HP iLO は、Active Health System を有効にして管理し、Agentless Management 機能も備えています。重要なすべての内部サブシステムが、HP iLO によって監視されます。HP iLO を有効にすると、ホストオペレーティングシステムに関係なく、またホストオペレーティングシステムがインストールされていない場合でも、HP iLO によって SNMP アラートが直接送信されます。

## 推奨アップデート

オプション

## 以下を差し替えます。

1.01

## 製品モデル

HP iLO 4

## オペレーティングシステム

- Microsoft Windows Server 2008、R2
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86、AMD64/EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (x86、AMD64/EM64T)
- SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86、AMD64/EM64T)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86、AMD64/EM64T)
- VMware ESXi 4.1、5.0

---

**注記:** HP iLO の OS、クライアント、ブラウザー、およびメモリサポートについては、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/compareilo> (英語)

HP ProLiant サーバーの OS および仮想化ソフトウェアサポートについては、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/supportos> (英語)

---

## ブラウザー要件

iLO の Web インターフェイスを実行するために、以下のブラウザーがサポートされています。

- Internet Explorer 7、8、9
- Firefox 10 ESR
- Chrome

iLO 4 の Web インターフェイスを使用する場合は、以下の設定を有効にする必要があります。

- **[JavaScript]** - このアプリケーションは、クライアント側の JavaScript を広範囲で使用します。

- **[ActiveX]** - iLO で Microsoft Internet Explorer を使用する場合は、ActiveX を有効にする必要があります。
- **[Cookies]** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- **[ポップアップウィンドウ]** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。

## サポートされるデバイス

- HP ProLiant DL360p Gen8
- HP ProLiant DL380p Gen8
- HP ProLiant DL385p Gen8
- HP ProLiant DL380e Gen8
- HP ProLiant DL360e Gen8
- HP ProLiant DL320e Gen8
- HP ProLiant DL160 Gen8
- HP ProLiant ML350p Gen8
- HP ProLiant ML350e Gen8
- HP ProLiant ML310e Gen8
- HP ProLiant BL460c Gen8
- HP ProLiant BL465c Gen8
- HP ProLiant BL420c Gen8
- HP ProLiant SL230s Gen8
- HP ProLiant SL250s Gen8
- HP ProLiant SL140s Gen8
- HP ProLiant WS460c Gen8 Workstation Blade

## FlexibleLOM のサポート

以下のサーバーは、iLO 共有ネットワークポート - FlexibleLOM 機能をサポートします。

表 1 共有ネットワークポートのサポート

HP ProLiant Gen8 サーバー	アダプターモデル
<ul style="list-style-type: none"> <li>DL360p Gen8</li> <li>DL380p Gen8</li> <li>DL160 Gen8</li> <li>ML350p Gen8</li> </ul>	HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331FLR アダプター
<ul style="list-style-type: none"> <li>DL360p Gen8</li> <li>DL380p Gen8</li> <li>DL160 Gen8</li> </ul>	HP Ethernet 1Gb 4 ポート 331FLR アダプター
<ul style="list-style-type: none"> <li>DL360p Gen8</li> <li>DL380p Gen8</li> <li>DL160 Gen8</li> </ul>	HP FlexFabric 10Gb デュアルポート 530FLR-SFP+ アダプター
<ul style="list-style-type: none"> <li>DL360p Gen8</li> <li>DL380p Gen8</li> <li>DL160 Gen8</li> </ul>	HP FlexFabric 10Gb デュアルポート 554FLR-SFP+ アダプター

## 拡張機能

このリリースでは、以下の拡張機能を使用できます。

- 新しい**[仮想メディア]**→**[起動順序]**ページでは、サーバーの起動オプションを設定できます。
- iLO SNMP インターフェイスは、DoS (Denial of Service) 攻撃を防止するために、SNMP ネットワークポート 161 に対する過剰な活動に反応します。
- ホストオペレーティングシステムに Agentless Management Service (AMS) がインストールされている場合：
  - iLO の **[サーバー名]**が更新されます。この更新により、iLO の Web インターフェイスに入力される情報が上書きされます。
  - **[SNMP パススルー]**が有効な場合でも、ホストの **[ネットワークリンク]**ステータスが表示されます。
  - インテグレートドマネジメントログ (IML) に記録されたイベントは、Linux messages ファイルに記録されず (Linux ホストのみ)。
- **[システム情報]**-**[メモリ]** ページの HP SmartMemory 情報の表示が改善されました。
- より大型の内部接続ストレージエンクロージャーの監視がサポートされるようになりました。
- iLO の Web インターフェイスでのホスト OS ネットワークリンクステータスの表示が改善されました。ポートにケーブルが接続されず、NIC がホストによって無効になっている場合、iLO の Web インターフェイスには **[リンクダウン]**の代わりにステータス **[情報]**が表示されます。
- iLO 4 1.05 は、以下の新しい RIBCL コマンドをサポートします。
  - SET\_ASSET\_TAG - ROM に資産タグを追加します。
  - GET\_ASSET\_TAG - 資産タグを表示します。
  - AHS\_CLEAR\_DATA - Active Health System ログを消去します。

- GET\_AHS\_STATUS - AHS を有効にするかどうかを決定します。  
これらのコマンドについて詳しくは、『HP iLO 4 スクリプティング/コマンドラインガイド』を参照してください。
- 以下のタグが変更されました。
  - MOD\_NETWORK\_SETTINGS  
iLO 4 1.01 では、SHARED\_NETWORK\_PORT パラメーターには、値として LOM、FlexLOM、および No を指定できます。  
ブランドの変更により、iLO 1.05 以降では、値として LOM、FlexibleLOM、および No を指定できます。
  - HOLD\_PWR\_BTN  
このスクリプトには、TOGGLE オプションがあります。iLO 4 でのこのオプションの動作は、以前のバージョンの iLO とは異なります。  
iLO 3 1.28 以前で TOGGLE オプションを使用する場合：
    - サーバーの電源が入っている場合、TOGGLE オプションは無視され、仮想ボタンを押すことでサーバーの電源が切られます。次のイベントが iLO イベントログに追加されます。Power-Off signal sent to host server by: < ユーザー名 >
    - サーバーの電源が切れており、TOGGLE オプションが YES に設定されている場合は、何も実行されず、次のイベントが iLO イベントログに追加されます。Power-On signal sent to host server by: < ユーザー名 >
    - サーバーの電源が切れており、TOGGLE オプションが YES に設定されていない場合は、次のエラーが発生します。Command without TOGGLE="Yes\" attribute is ignored when host power is off.
 iLO 4 1.01 以降で TOGGLE オプションを使用する場合：
    - サーバーの電源が入っている場合、TOGGLE オプションは無視され、仮想ボタンを押すことでサーバーの電源が切られます。次のイベントが iLO イベントログに追加されます。Power-Off signal sent to host server by: < ユーザー名 >
    - サーバーの電源が切れており、TOGGLE オプションが NO に設定されているか存在しない場合は、次のエラーが返ります。Host power is already OFF
    - ブレードサーバーの場合：  
サーバーの電源が切れており、TOGGLE オプションが YES に設定されている場合は、サーバーの電源が入ります。次のイベントが iLO イベントログに追加されます。Power-On signal sent to host server by: < ユーザー名 >
    - ブレード以外のサーバーの場合：  
サーバーの電源が切れており、TOGGLE オプションが YES に設定されている場合は、仮想ボタンを押すことでサーバーの電源が入ります。次のイベントが iLO イベントログに追加されます。Power-On signal sent to host server by: < ユーザー名 >
  - SERVER\_AUTO\_PWR  
SERVER\_AUTO\_PWR タグによって使用される Random および off パラメーターの動作が変更されました。
    - iLO 4 1.01 の場合：  
Random - 最大 60 秒のランダムな電源遅延  
off - 電源中断以前の最後の電源状態を復元します。

- iLO 4 1.05 以降の場合：
  - Random - 最大 2 分のランダムな電源遅延
  - off - サーバーの電源はオフのまま。
- SET\_ONE\_TIME\_BOOT
 

次のオプションが追加されました。RBSU。システム RBSU からホストを起動するには、このオプションを使用します。
- MOD\_SNMP\_IM\_SETTINGS
 

COLD\_START\_TRAP\_BROADCAST オプションが追加されました。

## 修正点

このリリースでは、以下の項目が修正されました。

- 一部の xml スクリプトで、すべてタグに Feature not supported メッセージが表示されない。
- RIBCL スクリプトを使用して MIN\_PASSWORD の値を 0 に設定できない。
- RIBCL を使用して管理者アカウント用の SSH キーをインポートできない。
- HPONCFG から取得したファイルをブレードサーバーに復元できない。
- HPONCFG にまたは XML スクリプトで SSH ポートを空白のままにすると、正しくないエラーメッセージが表示される。
- サーバー OS の起動後、1 分で統合リモートコンソールセッションが切断される。
- iLO の CLI と iLO の Web インターフェイスのネットワークゲートウェイ設定が一致しない可能性がある。
- HP BladeSystem c3000 エンクロージャーでスクリプト方式のメディアを使用すると、物理 DVD が正しくマウントされない場合がある。
- SSH キーを削除すると、イベントが記録されない。
- iLO が Smart アレイコントローラーと通信できない場合、Smart アレイとの通信が再確立されない場合があり、iLO を再起動するまでサーバーヘルス LED が赤色で点滅する。

## 前提条件

- iLO 4 の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入し、インストールしないと使用できません。詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/compareilo>（英語）を参照してください。
- Java 統合リモートコンソールを使用するには、Java Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2\_13 以降をインストールする必要があります。
- .NET バージョンの統合リモートコンソールを使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 以降をインストールする必要があります。
- .NET 統合リモートコンソールは、.NET Framework の一部である Microsoft ClickOnce を使用して起動します。
  - Mozilla Firefox では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Microsoft .NET Framework Assistant のような ClickOnce プラグインがあると、Mozilla FireFox のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。.NET Framework Assistant は、次の Web サイトからダウンロードできます。 <https://addons.mozilla.org/ja-JP/firefox/addon/microsoft-net-framework-assist/>
  - Google Chrome では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Chrome ブラウザー用の ClickOnce プラグインがあると、Chrome のサポート



されるバージョンから.NET IRC を起動できます。このプラグインは、次の Web サイトからダウンロードできます。<http://code.google.com/p/clickonceforchrome/>

## インストール手順

インストール手順については、次のマニュアルを参照してください。

『HP iLO 4 ユーザーガイド』

製品番号：684918-192

版数：2

## 問題と推奨処置

**問題：**SERVER\_AUTO\_PWR コマンドは、サーバーで 自動電源投入と電源遅延の 2 つの異なる設定を行います。SERVER\_AUTO\_PWR は、これらの設定のいずれかまたは両方が失敗しても、エラーを報告しません。

**推奨処置：**SERVER\_AUTO\_PWR を使用した後で、GET\_SERVER\_AUTO\_PWR を実行して、自動電源投入と電源遅延が正しく設定されていることを確認してください。